



四郷小だより

発行人 北岡 美代子

いよいよ3月、令和4年度の締めくくりの時期になりました。進級、進学に向けて、今の学年で身に付けるべき力をしっかり付けて、次年度につなげていきたいと思えます。今年度残り一か月、保護者の皆様のご理解とご協力を引き続きよろしくお願いたします。



3年生の授業「みんなの公園～インクルーシブな公園、町づくり」

～違いがあって当たり前前の社会になるように～

朝熊山麓公園にインクルーシブな遊具を含む新たな遊具が設置されます。遊具設置にあたり、5月に1～3年生が、市から「どんな遊具があったらいいなと思うか、子どもたちの声を聞かせてほしい。」とアンケートの依頼を受けました。

この公園整備にあたっては、「みんなの公園づくり隊 ise」の松元 康枝さんが伊勢市に「インクルーシブ公園を作ろう!」「インクルーシブ伊勢を目指そう!」と、インクルーシブ公園の実現をよびかけ、働きかけてこられました。

3年生の授業で、ぜひ、松元さんにお話を聞かせていただきたいとお願したところ、快くお引き受けいただき、2月7日(火)、総合的な学習の時間に、遊具メーカー「コトブキ」の福田さんと一緒にゲストティーチャーとしてお越しくださいました。当日は、「みんなの公園づくり隊 ise」から他に2名の方が来てくださる他、鈴木市長や伊勢市役所、教育委員会の方も授業を参観してくださいました。そして、テレビ局や新聞社も取材に来てくださいました。

授業では、障がいの有無に関わらず、あらゆる子がそれぞれの能力を發揮し、互いに違いを認め合い、理解し合いながら活躍できる社会をつかっていけるよう、まずは身近な公園をテーマに共生社会を考えました。松元さんはお子さんのことについてお話しくださり、「皆が互いの違いを知ることであつたかい町になっていくと思う。」と話されました。福田さんは外国のインクルーシブ公園の写真を示しながら、子どもも高齢者も、障がいがある人もない人も共に過ごせる公園の特徴を教えてくださいました。その後、子どもたちは6つのグループに分かれ、障がいのある子、お年寄り、赤ちゃん連れの人と一緒に公園に行くことを想定し、どんな工夫があつたらいいか、立場の異なる人の気持ちになって公園を考えました。子どもたちには、これからも様々な人の立場に立って考えられるように育って行ってほしいです。そして誰もが安心して暮らせる社会について考え、地域の一員として行動できるよう育って行ってほしいと願っています。



「みんなの公園づくり隊 ise」の松元さんと遊具メーカーの福田さん



ZTV が取材にみえ、2/15(水)授業の様子が紹介されました。

1 年教室に赤ちゃんがきてくれました！

2月14日(火)、助産師をされている1年生のお母さんと赤ちゃんが教室に来てくださいました。赤ちゃんは本当にかわいらしくて、子どもたちも大喜び。赤ちゃんがいるだけで、教室がほんわかした雰囲気になります。

お母さんからは、命のお話、生まれたばかりの赤ちゃんの様子、赤ちゃんの育ちなどについてお話を聞かせていただきました。そして、こんな素敵な言葉をいただきました。

「生まれたばかりの赤ちゃんが泣いた。それは息をしているってことです。



おっぱいを飲んだ。泣いた。それは生きるためのことです。

赤ちゃんが泣くとだれかが寄ってきてくれる。かわいい赤ちゃんがいるだけであったかい。

みんなも、愛情を受けて育ってきました。みんながランドセルを背負って歩いている。お話しする。それだけで、周りがあったかい気持ちになるんです。

みんな、いるだけですすごい存在です。大きくなっただけですすごいことなんです。」



卒業式に向けて

本年度の卒業式は、3月17日(金)です。6年生では、子どもたちがカウントダウンカレンダーを作り、毎日交代で「卒業に向けてのメッセージ」を伝え合っています。また、学習のまとめをする中、子どもたちから「4年生の時、コロナ禍で清掃工場に行けなかったから、卒業までに行きたい。」という声があがり、3月6日(月)、清掃工場の見学に出かけることになりました。3月2日(木)は、「きれいな町にしよう」と取り組んでいる総合的な学習の一環として、ごみ拾いをしながら五十鈴公園まで歩きます。その際、五十鈴中学校周辺の様子も見学しようと計画しています。

1～5年生の子どもたちは、6年生に感謝を伝える集会や卒業式に向けて、着々と準備を進めています。特に5年生は、体育館を華やかに彩る飾りや絵など、自分たちで案を出し合い、休み時間にも、自発的に制作に取り組んでいます。その姿からは、既に次の学校のリーダーとしての自覚と責任感が感じ取れ、頼もしく思っています。

年度末は、慌ただしい毎日となりますが、子どもたちに、達成感や自信、希望を持たせて、次年度につなげていきたいと思えます。

※卒業式には、在校生は5年生のみ出席します。

1～4年生は休業日となりますので、よろしく願います。

※伊勢市では、文部科学省の通知に従い、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とすることとなりました。ただし、斉唱や呼びかけ等についてはマスクを着用するなど感染症対策を講じて行います。また、様々な事情や不安を抱く児童もいると思えますので、マスクの着脱を強いることはありません。(保護者の方には式典全体を通じてマスクの着用をお願いします。)

【教育活動に関する評価について】

12月に行いました「四郷小学校教育活動に関する評価」(学校教育活動に関するアンケート)にご回答いただき、ありがとうございます。結果は裏面に掲載しております。記述にいただいたご意見も併せて成果と課題を検証し、今後の学校運営に生かしてまいります。

※アンケートで、「歯磨きを再開してほしい」というご意見をいただきました。学校での歯磨きについては、まだ不安を感じる児童もいることから、強いることとはしませんが、希望する児童について、「ソーシャルディスタンスを保つ」、「歯磨き中の私語はしない」、「うがいで水を吐き出すときは、低い姿勢でゆっくり行う」など注意して行うこととします。(保健日よりでもお知らせします。)

令和4年度 四郷小学校教育活動に関する児童アンケートのまとめ

| 評価していただく内容 | | そう思う ややそう思う | あまりそう思わない そう思わない |
|------------|-----------------------------------|----------------|---------------------|
| 1 | 学校は楽しいですか。 | 92.5% | 7.5% |
| 2 | 授業はわかりますか。 | 93.3% | 6.7% |
| 3 | 困った時には、先生に相談できますか。 | 71.7% | 28.3% |
| 4 | 学校では友だちがいますか。 | 91.6% | 8.4% |
| 5 | 勉強をがんばることができましたか。 | 97.5% | 2.5% |
| 6 | 一人ぼっちや困っている子に声をかけることができましたか。 | 82.5% | 17.5% |
| 7 | 自分から挨拶をしていますか。 | 90.8% | 9.2% |
| 8 | 廊下を走らないなどの学校の約束が守れていますか。 | 89.2% | 10.8% |
| 9 | 授業中、進んで発言をしようとしていますか。 | 76.5% | 23.5% |
| 10 | 友だちや先生の話をしっかり聞いていますか。 | 95.0% | 5.0% |
| 11 | 宿題は、きちんとしていますか。 | 98.3% | 1.7% |
| 12 | 早寝早起きはできていますか。 | 83.2% | 16.8% |
| 13 | マスク着用、手洗い、消毒、人とのきよりをとるなどができていますか。 | 89.2% | 10.8% |

◎アンケート結果について

◆「1 学校は楽しいですか」では92.5%が肯定的な結果でした。全ての子にとって「学校が楽しい」と思えるよう取り組んでまいります。

◆「2 授業はわかりますか」では、93.3%が肯定的にとらえています。また、「5 勉強をがんばることができましたか」では97.5%、「10 友だちや先生の話をしっかり聞いていますか」の項目では95.0%、「11 宿題はきちんとしていますか」の項目では98.3%が肯定的回答をしています。全体的に、子どもたちは学習に熱心に取り組み、よくがんばったと思います。ですが、「9 授業中、進んで発言をしようとしていますか」の項目では76.5%という結果でした。子どもが自発的に学習に取り組み、対話を通して考えを深めていく授業実践にさらに取り組んでいく必要があります。

◆「3 困った時には、先生に相談できますか。」の項目では、71.7%の結果でした。各学級、集会でも子どもたちに話しましたが、悩みは一人で抱え込まず、どの先生でも構いませんので、相談してほしいと思います。スクールカウンセラーの先生に聞いてほしい人は、担任の先生や養護の先生に伝えてほしいです。

※2月21日(火)、評議委員会を開催し、評議員の方々にも報告いたしました。

令和4年度 四郷小学校教育活動に関する保護者アンケートのまとめ

| 評価していただく内容 | | そう思う ややそう思う | あまりそう思わない そう思わない |
|------------|--|----------------|---------------------|
| 1 | 子どもは楽しく学校生活をおくっている | 94.3% | 5.7% |
| 2 | 子どもたちは、学力(基礎的・基本的事項)が身についている。 | 94.3% | 5.7% |
| 3 | 子どもたちは、登下校時や休みの日に近所の人たちに挨拶をしている | 80.0% | 20.0% |
| 4 | 学校は、教育方針や教育目標を学校HP、学校たより等で分かりやすく伝えている | 95.7% | 4.3% |
| 5 | 学校は、学校・学級だよりなどで、情報公開に努めている | 92.9% | 7.1% |
| 6 | 学校は、地域・保護者の考えや意見を把握するように努めている | 90.0% | 10.0% |
| 7 | 学校は、人権を大切に作る心、差別やいじめをなくそうとする心の育成に努めている | 88.6% | 11.4% |
| 8 | 学校は、子どもの学力向上に努めている | 84.3% | 15.7% |
| 9 | 学校は、子どもの健康や安全に気をつけて指導や助言をしている | 95.7% | 4.3% |
| 10 | 学校は、保護者や地域と連携のとれた教育活動をしている | 90.0% | 10.0% |
| 11 | 学校は、地域教材・地域人材などを活用した教育活動を進めている | 94.3% | 5.7% |
| 12 | 台風・地震等の防災について、学校の対応が知らされている | 98.6% | 1.4% |

◎アンケート結果について

「そう思う・ややそう思う」の集計が90%を超えている項目については、おおむね理解されている、90%に満たないものは課題がある」ととらえて検討しました。また、90%以上の評価をいただいた項目に関しても、「そう思わない」という方の評価を真摯に受け止め、さらなる努力をしていかなければいけないと考えています。

☆おおむね理解が得られたととらえた項目 ①②④⑤⑥⑨⑩⑪⑫

☆課題があるととらえた項目 ③⑦⑧

◆③の項目について 校内では多くの子がしっかりと挨拶ができてきていますので、今後、登下校時や休みの日にも、元気にあいさつできるよう継続して指導していきたいと思います。ご家庭でも、ご指導いただきますようご協力をお願いします。

◆⑦の項目について 学校は「互いに尊重し合い、人権感覚が豊かな学校」をめざしており、あらゆる教育活動において人権教育に取り組むべきであると考えています。各教科等において充実した指導を行うとともに、子どもたちが課題意識を持って自ら考え、主体的に判断するような力や実践的に行動するような力を育成していけるよう取り組んでまいります。

また、日常生活の中の身近な課題に気づき、「自分の大切さ、他の人の大切さを認めること」を意識し、態度や行動にも現れるように指導してまいります。ご家庭や地域の方々と連携し、子どもたちの人権意識を培っていけるよう見守っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

◆⑧の項目について 子どもたちに確かな学力が確実に育まれるよう、引き続き、きめ細かな指導に取り組んでまいります。「わかる」「楽しい」という充実感の持てる授業、対話により互いに高め合う授業に向けて、指導法の研究を進め、工夫しながら、より良い授業づくりに努めます。また、子どもたち自身が意欲的に、粘り強く取り組めるよう指導してまいります。